

## 第46号

発行：令和元年8月  
会員数：200名（7月末現在）  
（家族会員=19名、個人会員=181名）  
発行責任者：飯田 秀  
編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

# 友の会だより

友の会事務局：  
松阪市小野江町 383  
松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

## 館長挨拶

松浦武四郎記念館 館長  
多賀 幸子

「友の会」のみなさまには、日頃より「松浦武四郎記念館」に對しまして、ご支援ご強力を賜りましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。本年度より館長として就任いたしました。まだまだ未熟な私でございます。みなさまのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

記念館には、全国からたくさんのお客様がいらっしゃいます。来館者の中には、「自分の住んでいる地域の昔について、武四郎さんの記録にないだろうか?」「自分が研究している偉人が書いた書物を、武四郎さんが読んだ事実はないか?」など、目的を持った方がいらっしゃいます。「武四郎さんのことをあまり知らなかったけれど、彼の功績は大きい。みなさんに伝えたい。」と感想を残される方もいらっしゃいます。館長の職に就き3ヶ月経ちましたが、武四郎さんの功績の偉大さを実感する毎日です。

5月27日、私は、友の会研修バス旅行に参加いたしました。佐太天神宮では、特別の機会でないとは拝観することのできない神鏡をすぐ近くで観せていただくことができ、武四郎さんをすぐそばに感じることができました。また、「松阪の偉人たち展」では、展示とギャラリートークを通して、武四郎さんの功績と魅力が発信されたと思います。今後、「友の会」のみなさまが武四郎さんを広く顕彰していただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、飯田会長はじめ、みなさま方のご多幸と、「友の会」さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。<令和元年七月記>



初めての女性館長に・・・

多賀館長は、以前小野江小学校に勤務されておられたときには、大変ご理解いただき、子どもたちと共に記念館を盛り上げてくださったことがあります。今回のご就任は、まさに適任ということで、今後のご活躍を楽しみにしております。お忙しいでしょうから、お体を大切にされますように。

### 新役員 幹事就任挨拶

今年度役員を務めさせていただきます柴田です。友の会に入会して約6年になります。花岡地区に住む県外出身者です。言い訳になりますが、松浦武四郎に関するものは浅く、任務を果たせるのか不安な気持ちで一杯です。

何とか、武四郎さんの考え方を少しでも理解し、行動で現せる様に努力致します。

柴田 実

### 新役員 幹事就任挨拶

友の会役員をさせていただく事になりました河村です。わからない事ばかりで、不安ですが、他の役員の皆様にご教授いただき、精一杯頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

河村 千鶴子

## 新役員 幹事就任挨拶

当「友の会」とのかかわりは、10年程前(2008年)武四郎生誕190年イベント<武四郎まつり、シンポジウム、記念講座など>からで、それ以来今日まで参加できて満足しています。これまで、10年あまりも続けられたのは、①自分自身の趣味②対象人物像③主催者関係者の努力など全てがバランスよく連動してきたからと思います。中でも、表面には出ないが関係者のたゆまぬ努力に負うところも大きいと思う。これからは、その裏方として周りの人たちとコミュニケーションをとって任を果たしていきたい。よろしくお願いします。

粉川 哲夫

## 研修バス旅行

令和元年5月27日(月)、43人の参加者を乗せた観光バスは、一路大阪府守口市へ。この旅が始まって2回目(平成23年に武四郎を読む会と共催)ではあるが、武四郎さんが聖跡二十五天満宮として第九番にした「佐太天神宮」へ到着。宮司さんからお話を聞いた後、銀行の貸金庫に保管され20年に1回公開されているため、奉納当時と変わらずピカピカのまま保存されてきたご神鏡を拝見させていただいた。顔を写す表面は、150年近くたった今でも輝いていて、今の鏡と変わらぬほどだった。その後、参拝させていただき、奉納時に建てられた石碑を拝見、記念撮影もして、ここで美味しいお弁当をいただきゆっくりさせていただいた。次に、門真にあるパナソニックミュージアムへ。そこから、奈良県にある菅原天満宮へ。ここは、武四郎さんが作った聖跡二十五天満宮すごろくに番外ながら一コマ記されている所で、菅原という地名の所があり、道真公の出身地と言えるようだ。



佐太天神宮にて記念写真



聖跡二十五天満宮双六



ご神鏡

## 武四郎翁ゆかりの神鏡を訪ねる旅に参加して (紙面の都合により一部抜粋) 伊藤 克司

私は、会員になって2年くらいのため、昨年の神鏡を訪ねる旅と今回の旅とで2回目です。ただ、昨年には個人的に聖跡第一番の菅原院天満宮に行き、神鏡は拝見できなかったが、石碑を写真に収めてきた。

今回聖跡第九番佐太天神宮では、由緒や縁起などを森裕子宮司と奥原光一顧問に受け賜った後、本殿にてお祓いを受け、書院では、25年に一度しか公開されていない小神鏡を特別に拝見でき感激した。また、その神鏡が銀行の貸金庫で保管されていると聞き、驚くと共に、武四郎翁の神鏡が大切に保管されていることを本当に嬉しく思いました。昼食後は、パナソニックミュージアムに向かい、松下幸之助歴史館では、94歳の生涯をパネル展示しており、幸之助の生き方・考え方・経営観などを見ることができた。また、ものづくりイズム館では、子どもの頃から今までの電気製品があり、懐かしく、昔が思い出されました。その後、奈良市の菅原天満宮へ向かい、ここが菅原家発祥の地であると中村眞一禰宜からお話があり、日本最古の天満宮である、道真公誕生地である、毎年2月に梅まつりが開催されているなど知ることができた。

武四郎講座で「なんて面白い人なんだ」とその魅力に引き込まれていって、私が最も好きなのは、武四郎さんがアイヌの人々と交流し、何としても守りたいとその迫害を訴え続けたことです。その北海道の描かれた北野天満宮の大神鏡を拝見し、武四郎さんの願いに思いを寄せたいものです。

最後に、私は、本町の旧小津清左衛門家、松阪商人の家で勤務しています。ぜひ遊びに来てください。

## 三雲振興局ほっとギャラリーで展示！！

「2018年度の活動報告と武四郎ドラマPR」を、6月3日から28日まで、三雲ほっとギャラリーにておこないました。昨年度は、武四郎生誕200年の記念すべき1年間で、記念事業への参加や友の会10周年記念事業として、武四郎さんの墓参、一畳敷き見学などをおこないました。その他、日頃の活動などを写真で紹介し、振興局を訪れる方に見ていただきました。また、7月15日にNHKで放送された「永遠のニッパ」を紹介しPRしました。皆様ご覧になったでしょうか。



活動報告コーナーの前で・・・

## 特別講演と総会を開催！！

毎年5月の開催ですが、都合により6月9日(日)に友の会総会を行いました。総会に先立ち恒例になりました友の会主催の特別講演を行い、「竹川竹斎と武四郎」と題して、松阪市偉人顕彰団体協議会理事で射和の濱博之さんにお話ししていただきました。武四郎は、津の平松楽斎塾に学んでいた15歳の時、射和の延命寺で開かれた物産会に、楽斎先生の紹介で西洋のコインを出展したという記録が残っている。竹斎が主催したとのことで、この時、竹斎と武四郎が出会ったのであろうと思われるとのこと。その後、記録が無いものの、武四郎に速歩術を伝えたのではないかと、竹斎が指南書を所蔵していた事実を写真パネルなどを使ってご説明いただいた。

総会は、会員35名のご出席があり、市長の挨拶、三雲地域振興局石川局長の挨拶の後、喜畑雄介さんに議長をしていただき、活動報告、会計報告などの話し合いがされました。

役員は、退会されたり退任された方に代わって、新役員が承認されました。会長から「年号も令和に変わり、新しい気持ちで、会員方々に親しんでもらえる友の会にしていきたいと思います。」と話されました。

武四郎さんと同じ時代を生きた  
竹川竹斎翁の功績を紹介する濱先生です。  
ありがとうございました！



## 松阪の偉人たち展に参加しました！

7月3日(水)から7日(日)まで、文化財センターにおいて、第5回松阪の偉人たち展が開催され、武四郎記念館友の会も参加しました。最終日には、ギャラリートークを行い、会長が武四郎さんを熱く語りました。見てくださいました方々、ありがとうございました。

## 武四郎ドラマ「永遠のニシパ」を記念した講演会！

7月15日（月）の午後、クラギ文化ホールにて「脚本家 大石静さんの講演」と、トークセッションがあり、たくさんの会員参加のもと、永遠のニシパの裏話を聞かせていただくことができました。19時半からの放送も、偶然同じ日になってしまったとのことで、武四郎さんもいきなことをしやんすわと、三重県弁で天国の武四郎さんに話しかけてしまいました。このドラマの最大のテーマは、ヒューマニズムだそうです。なんやら難しい言葉でごまかされたみたいやわって、心の声が聞こえてきそうです。アイヌの人たちが大好きやっただけやのにね。

## 【記念館よりお知らせ】

### ☆記念館講座のご案内

※下記は予定ですので、変更になる場合があります

- 9月 8日(日)10:00～ 「武四郎はなぜ大台ヶ原を目指したか」講師：山本命（主任学芸員）
- 10月13日(日) 「小野江ふれあい祭り」を開催するため、講座はお休み
- 11月10日(日)10:00～ 「武四郎はなぜ一畳敷を作ったか」講師：山本命
- 12月 8日(日)10:00～ 「武四郎はなぜ16歳で家を出たか」講師：山本命

### ☆展示のご案内

- ◆武四郎の生涯 ～8月25日（日）まで
- ◆幕末を生きた武四郎 8月27日（火）～11月 4日（月）まで
- ◆武四郎の古物収集 11月 6日（水）～ 1月19日（日）まで



### 講演会のお知らせ

1月12日（日）  
10:00～  
演 題：(仮) 東奥沿海日誌  
を読む  
講 師：佐藤貞夫先生

## 【友の会よりのお知らせ】

他団体との交流会に参加ください！

9月9日（月）10時～11時30分  
場所：松阪市民活動センター3F会議室  
団体名：NPO法人松阪歴史文化舎  
理事長：門 暉代司 様

### 秋のバスツアーの予定

11月17日（日）：紅葉の時期かな？  
場所：大杉谷周辺、定神社、ダム湖遊覧  
※松浦武四郎が晩年、大台ヶ原へ登るためのルートとして、大杉谷を抜ける道を模索していた。そのため、地元の案内人と定神社の奥の宮まで入った。今は、入ることもできないので、ダム湖を遊覧しながら、思いをはせましょう。  
(9月に募集します)

### 友の会だよりの発行について

発行回数は年4回でしたが、3ヶ月に1回を4ヶ月に1回に変更し、年3回にさせていただきました。従って、次回の発行は、12月の予定です。

皆様からの感想などを掲載したいと考えています！ぜひ、次号に投稿していただければありがたいです。また、依頼された場合は、気軽にお受けくださいますようお願いしま～す。

